

床ずれ防止用具／体圧分散式エアマットレス

マイクロクライメイト ネクサス ^{アイビー} iB

microclimate
nexus **iB**

取扱説明書 —保証書付—

この度はマイクロクライメイトネクサスiBをお買い求めいただきありがとうございます。

取扱説明書について

- マイクロクライメイトネクサスiBのご使用に先立って、この取扱説明書を最初から最後まで必ずお読みください。
- いつでも読み返すことができるように、本書をマイクロクライメイトネクサスiBのそばに保管してください。
- 本書の最終ページは保証書になっています。

もくじ

マイクロクライメイト ネクサスiBについて	P. 2
安全にお使いいただくために ■取扱説明書の見方 ■重要安全情報 ■安全上のご注意	P. 4
設置の前に ■梱包内容の確認 ■各部の名称	P. 7
すぐ使いたいときに (設置手順早見表)	P. 9
操作パネルの機能説明	P.10
設置をしましょう	P.12
実際に使用しましょう(各種モード等) ■体重設定 ■キーロック機能 ■自動背上げ対応機能 ■CPR対応機能 ■圧切替設定 ■メモリ機能 ■クイックハードモード ■設定リセット機能 ■換気(マイクロクライメイト)機能 ■専用マットレスの持ち運び ■安全お知らせ機能	P.17
お手入れ方法 ■専用カバーのお手入れ ■ファンユニットの取り扱い方法 ■専用ポンプのお手入れ ■ヘッドアップセンサの取り扱い方法 ■専用マットレスのお手入れ	P.26
点検ポイント	P.31
保管・廃棄方法	P.33
故障かな?と思ったら…	P.34
アフターサービスについて	P.37
仕様	P.38
保証書	P.40

マイクロクライメイト ネクサス iB について

マイクロクライメイト ネクサス iB は床ずれ防止用エアマットレスです。

マイクロクライメイト ネクサス iB は、床ずれ発生の外的要因として新たに着目されている皮膚局所の温度上昇を抑制する機能や、看護・介護ケアにおいて管理の重要度が高い背上げの角度や経過時間をお知らせする安心機能を備えています。

厚さ10cmのデュアルフィットセル(頭～背部、足部)と傾斜型2層式エアセル(腰～臀部)の組み合わせと2cmのベースマットレス、設定状態が一目で分かる液晶画面を搭載した電子制御の専用ポンプから構成される高機能タイプのエアマットレスです。

マイクロクライメイト ネクサス iB のご使用に際して

ご使用に際しては、専門家と相談の上、ご使用ください。

また、使用中に療養者の身体に異常が生じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。

ご理解いただきたいこと

マイクロクライメイト ネクサス iB は、床ずれ発生の外的要因の一つである局所の圧迫の時間的継続性を断ち、皮膚局所の温度上昇を抑えて、床ずれを防止しようとする補助具です(医療機器ではありません)。

したがって、療養者の全身状態や様々な状況によっては、適切にご使用いただいても床ずれを防止できないことがあります。

これらのことをご理解いただき、ご使用くださいますようお願いいたします。

特長

2種類のエアセル

完全独立2層式デュアルフィットセルと傾斜型2層式エアセルの組み合わせとベースマットの積層で、厚さは12cmです。

圧切替

24本(※)のエアセルが、約5分間隔で3連圧切替による膨張と収縮を繰り返します。「通常」「弱」の設定に加え、「静止」設定でOFFにすることもできます。

※ショートサイズは22本

クイックハードモード

約3分でエアセルの内圧を高めて静止します。リハビリや端座位などの安定床面が必要なシーンに迅速に対応します。

自動背上げ対応機能

マットレスに内蔵したヘッドアップセンサが背上げ角度を検知。角度に応じてマットレス内圧を最適な状態に自動調整します。

換気（マイクロクライメイト）機能

マットレスに内蔵したファンユニットにより、皮膚局所の温度上昇を抑制します。

体重設定

20kgから140kgまで5kg刻みで設定が可能です。また、ワンタッチで自動的にマットレスの内圧調整ができる「かんたんモード」も搭載しています。(40～60kgの体重の方対象)

衛生的で高性能な専用カバー

液体がマットレス内に浸入しにくい防水カバーです。制菌加工(SEK赤ラベル相当)を施し、有害な菌の繁殖を抑えます。優れた伸縮性を備えた高性能な生地でマットレスの体圧分散性能を妨げません。

取り外し可能な電源コード

着脱式の電源コードを搭載しています。

安全お知らせ機能

1.お知らせ角度設定機能

事前に設定した角度に達したときに報知音によるお知らせをします。5°刻みで15°～75°まで設定できます。

2.背上げ経過時間お知らせ機能

背上げの経過時間を液晶画面に表示します。

3.クイックハード残り時間お知らせ機能

60分自動解除までの残り時間を液晶画面に表示し、残り「3分」と「0分」では音声によるお知らせもします。

4.光サイン／警告音

動作状況がすぐに確認できる光サインを搭載。正常時は青色に点灯。異常時には赤色に点滅し、警告音を発して直ちにお知らせします。

その他の安全機能

1.停電対策機能

停電と同時に専用ポンプ内部のバルブが作動してエアセル内の空気漏れを自動で遮断。マットレス全体の内圧を約14日間保持します。

2.CPR対応機能(緊急時エア排出機能)

カプラーを外すと速やかに空気が抜け、背部を底つき状態にすることが可能。心肺蘇生時に安定床面を確保します。

3.メモリ機能

電源プラグをコンセントに差し戻した時や電源の復旧後は、直前の設定に自動復帰します。設定リセット機能により初期設定に復帰することも可能です。

4.キーロック機能

ボタン操作にロックがかかり、誤操作を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マイクロクライメイト ネクサスiBの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指示に従ってください。

取扱説明書の見方

- 必ず、最初から最後まで通してお読みください。
- 使用を開始してから、困ったこと、わからないこと、不安なこと等が生じた場合には直ちに使用を止め、P34～36「故障かな?と思ったら…」を参照し、解決のための情報を得てください。故障でない場合、その問題についての参照ページが記載されています。
- 上記の方法で解決しない場合は、裏面の保証書をご覧ください、お買い上げになった販売店、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。
- マイクロクライメイト ネクサスiB専用ポンプ及び専用マットレスは本書において、「専用ポンプ」「専用マットレス」と表記いたします。

重要安全情報

マイクロクライメイト ネクサスiBのご使用中に生じる可能性のある危険を回避するためには、その原因となる要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予測することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義し記載してあります。



警告:このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告します。



注意:このマークにある指示に従わなかった場合に、本商品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。

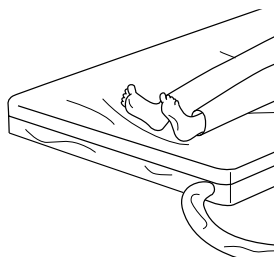
安全上のご注意 〈警告〉



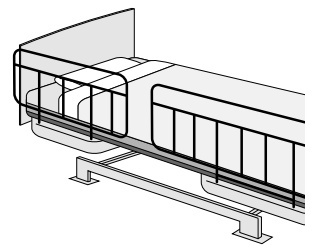
マイクロクライメイト ネクサスiBのご使用に際しては、必ず専門家と相談の上、ご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。症状悪化や事故の恐れがあります。



送風チューブが必ず足側になるように専用マットレスを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



マイクロクライメイト ネクサスiBのご使用に際しては、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しないと、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。



専用カバーには防水生地が用いられており、呼吸を妨げるような姿勢をとると窒息の危険があります。

警告 5

専用マットレスの上で飛び跳ねないでください。怪我をしたり、破損の原因になります。また専用マットレスの上で立ち上がったたり、膝立ちしたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険があるばかりか、落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。

警告 6

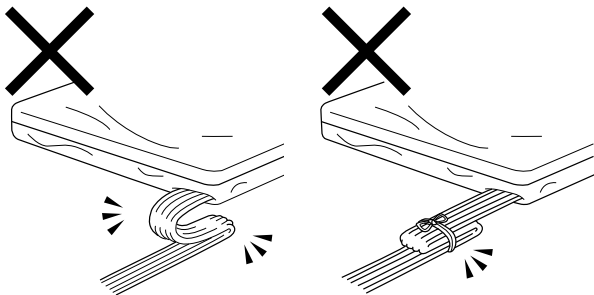
専用マットレスの上で端座位や移乗を行う際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

警告 7

専用マットレスの上での喫煙はお止めください。火災の原因等になることがあります。

警告 8

送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、専用マットレスに空気が送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



警告 9

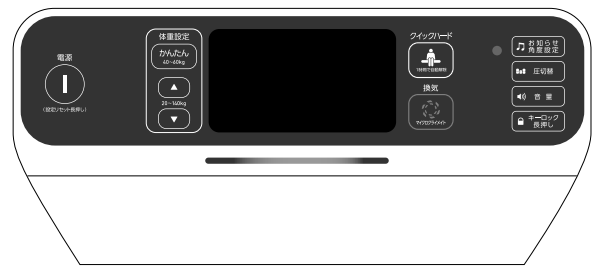
二人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。また本来の性能を発揮できないばかりかマットレス破損の原因にもなります。

警告 10

専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。怪我の原因になることがあります。また、専用ポンプの上に物を置いたり、掛け布団等が掛からないようにしてください。専用ポンプの誤操作や温度を異常に上昇させ、故障の原因になります。

警告 11

専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因になります。



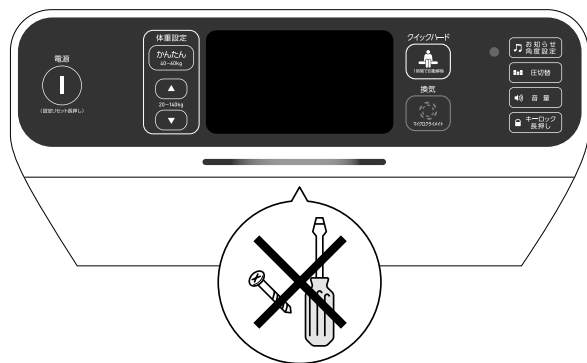
直射日光の当たる場所、高温多湿な場所を避け、熱や湿気がこもらないように壁から5cm以上離して設置してください。

警告 12

専用ポンプやファンユニット、ヘッドアップセンサなどを落下させたり、衝撃を加えないでください。故障の原因になります。

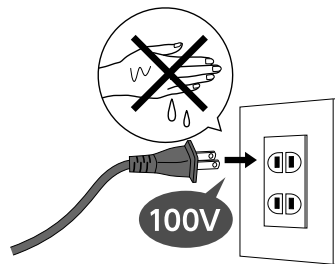
警告 13

ご自分で修理するために専用ポンプ、ヘッドアップセンサ、ファンユニットのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因になります。また専用ポンプを改造したりすることは、安全上重大な影響を及ぼす恐れがあります。決してお客様による改造は行わないでください。



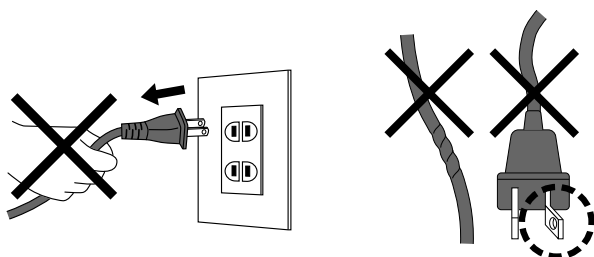
警告 14

専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V、50/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因になります。また、濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因になります。



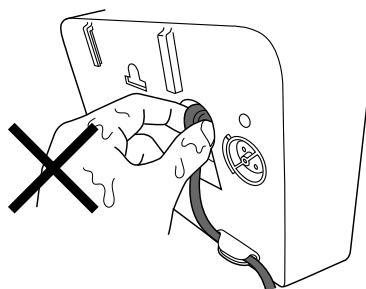
警告 15

専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。火災事故や感電事故、故障の原因になります。



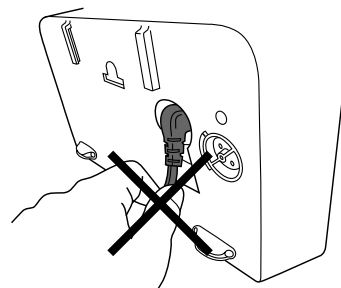
警告 16

専用ポンプの電源コネクタは、必ず専用ポンプに確実に差し込んでお使いください。また、濡れた手で電源コネクタの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因になります。



警告 17

専用ポンプの電源コネクタを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたりしないでください。また専用ポンプから電源コネクタを抜く際には、必ずコネクタを持って抜いてください。火災事故や感電事故、故障の原因になります。



警告 18

マイクロクライメイト ネクサス*iB*の専用マットレスと専用ポンプ、付属の電源コード以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因になります。

警告 19

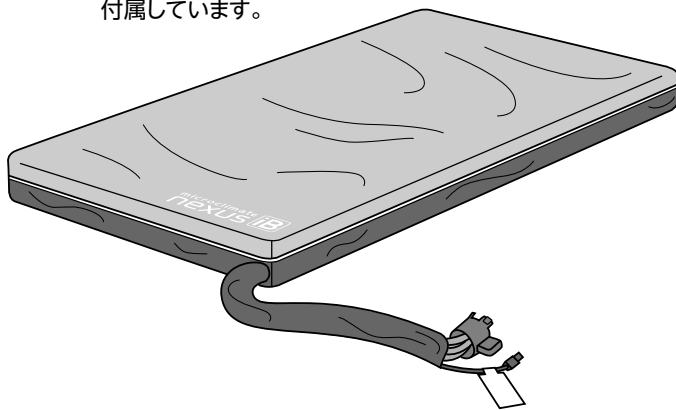
マイクロクライメイト ネクサス*iB*を長期間使用しないときや専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因になります。

梱包内容の確認

●お手元にお届けした梱包には、以下のものが入っています。ご確認ください。

専用マットレス(専用カバー付属)…×1

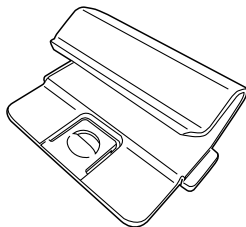
専用カバーは専用マットレスに
付属しています。



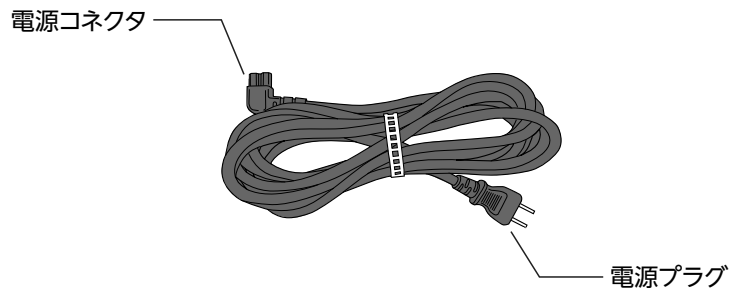
専用ポンプ…×1



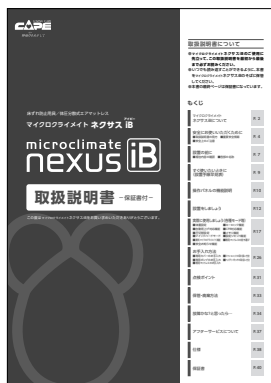
ポンプフック…×1



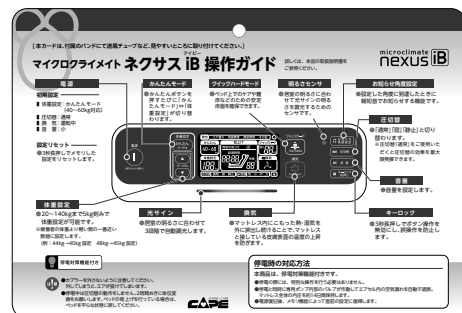
電源コード…×1



取扱説明書(保証書付/本書)…×1



取扱説明簡易カード…×1

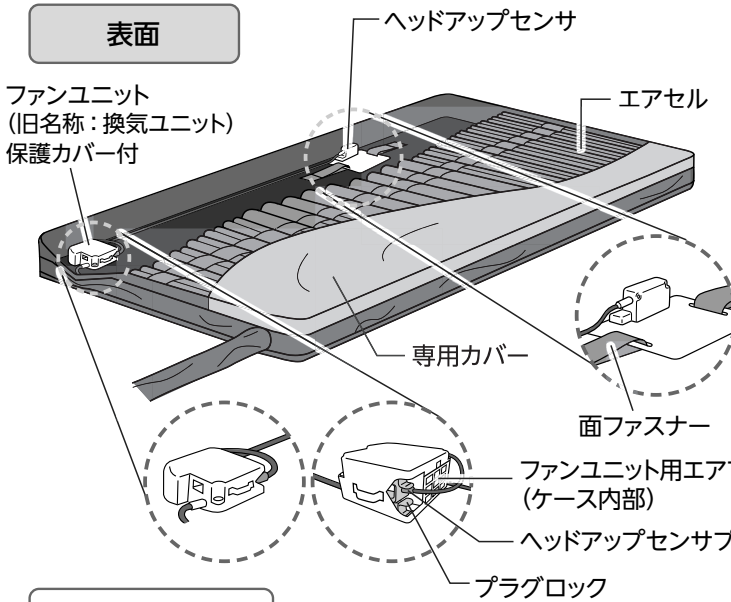


付属のバンドで、送風チューブカバーの黒いベルトに取り付けてください。

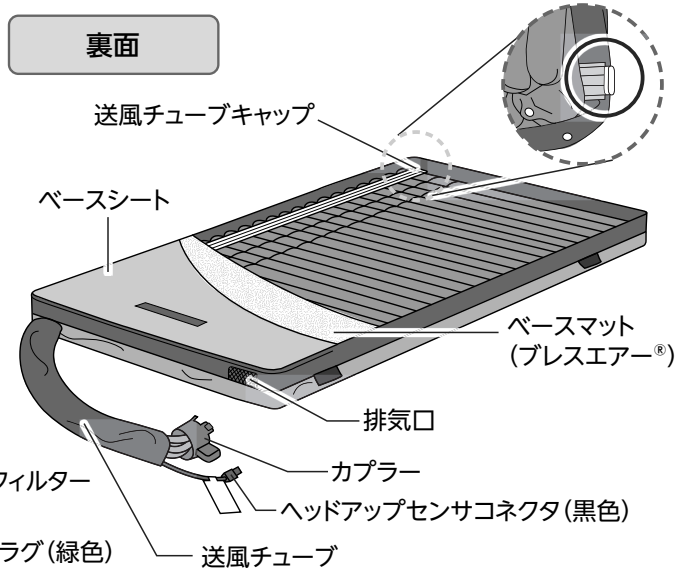
各部の名称

専用マットレス(専用カバー付属)

表面



裏面

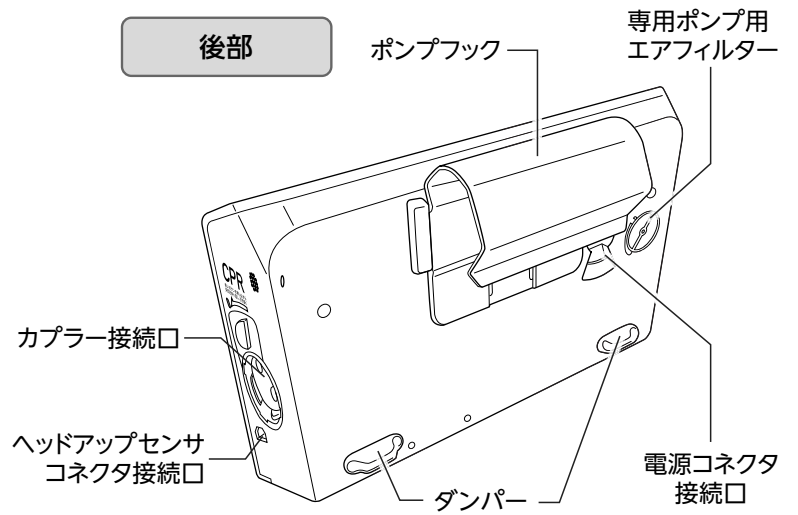


専用ポンプ

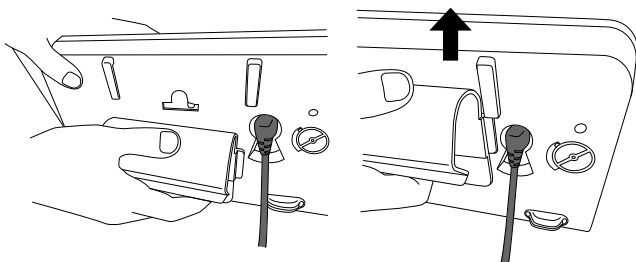
前部



後部

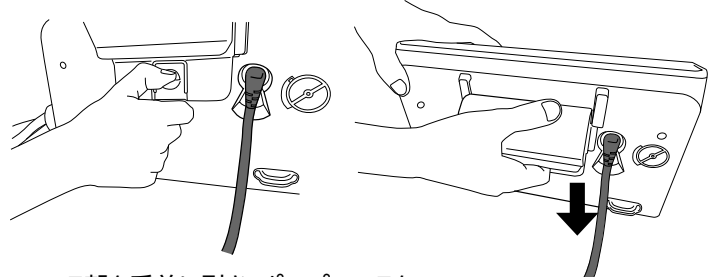


[ポンプフックの取り付け方]



「カチッ」と音が鳴るまで、上方向に引き上げてください。

[ポンプフックの取り外し方]



ロック部を手前に引き、ポンプフックを下方向に押し下げてください。

すぐ使いたいときに（設置手順早見表） ※詳しくはP.12以降をご覧ください。

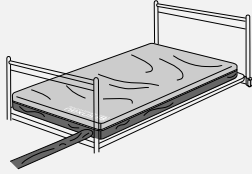
1

専用マットレスをベッドの上に設置します。

- ベッドの上にそのまま敷いてください。

確認

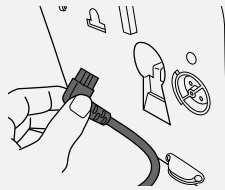
- ロゴマークが印刷されている面を上に向けて設置してください。
- 送風チューブがある方が足側になるように設置してください。
※送風チューブは巻き込まないこと。



2

専用ポンプに電源コードをつなぎます。

- 電源コネクタを専用ポンプの接続口に正しく差し込みます。



3

専用ポンプを設置します。

- フットボードのあるベッドをご使用の場合、ポンプフックを引っ掛けて設置してください。
- フットボードがない場合は床などの水平な場所に立てた姿勢で置いてください。

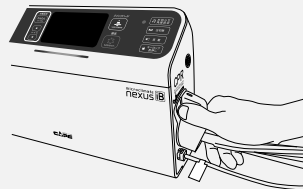


4

専用ポンプにカプラーを接続します。

- ヘッドアップセンサコネクタ（黒色）を差し込み、専用マットレスのカプラーをカプラー接続口に正しく接続してください。

→詳しい接続方法はP.15をご参照ください。



5

電源プラグをコンセントにつなぎます。

- 自動で電源が入り、液晶画面が点灯します。
※暗室で3分経過すると液晶画面が消灯します。

初期設定

体重設定:かんたんモード(40~60kg対応)
圧切替:通常 換気:運転中 音量:小

6

療養者の体重に設定します。

- 療養者の体重が40~60kgの場合かんたんモードでそのままお使いいただけます。(体重設定もご使用になれます。)
- 療養者の体重が40~60kgでない場合体重設定ボタンを操作して療養者の体重に合わせます。



設定後約30分で使用可能になります。

7

療養者に寝てもらいます。

8

療養者の状況に応じて各種設定を変更できます。

- 通常は3連圧切替による膨張収縮を行います。
- 必要に応じて各種モードのボタンを押してください。

圧切替:弱/静止 圧切替が気になる方や安静管理が必要な方に

クイックハード 動作介助やポジショニングなどベッド上でのケア時に

操作パネル

電源

初期設定

- 体重設定: かんたんモード (40~60kg対応)
- 圧切替: 通常
- 換気: 運転中
- 音量: 小

設定リセット

- 3秒長押しでメモリした設定をリセットします。

かんたんモード

- かんたんボタンを押すたびに「かんたんモード」⇄「体重設定」が切り替わります。

クイックハードモード

- ベッド上でのケアや離床などのための安定床面を確保できます。

明るさセンサ

- 居室の明るさに合わせて光サインの明るさを調光するためのセンサです。

お知らせ角度設定

- 設定した角度に到達したときに報知音でお知らせする機能です。

体重設定

- 20~140kgまで5kg刻みで体重設定が可能です。
※療養者の体重より軽い側の一歩近い数値に設定します。
(例: 44kg→40kg設定 48kg→45kg設定)

光サイン

- 居室の明るさに合わせて3段階で自動調光します。

換気

- マットレス内にこもった熱・湿気を外に排出し続けることで、マットレスと接している皮膚表面の温度の上昇を防ぎます。

圧切替

- 「通常」「弱」「静止」と切り替わります。
※圧切替「通常」をご使用いただくと圧切替の効果を最大限発揮できます。

音量

- 音量を設定します。

キーロック

- 3秒長押しでボタン操作を無効にし、誤操作を防止します。

操作パネルの機能説明

■ 操作画面説明 ■

各機能の詳細は記載されているページをご覧ください。

療養者の体重設定 ▶ P.17

かんたんモード

体重が40～60kgの場合



体重設定

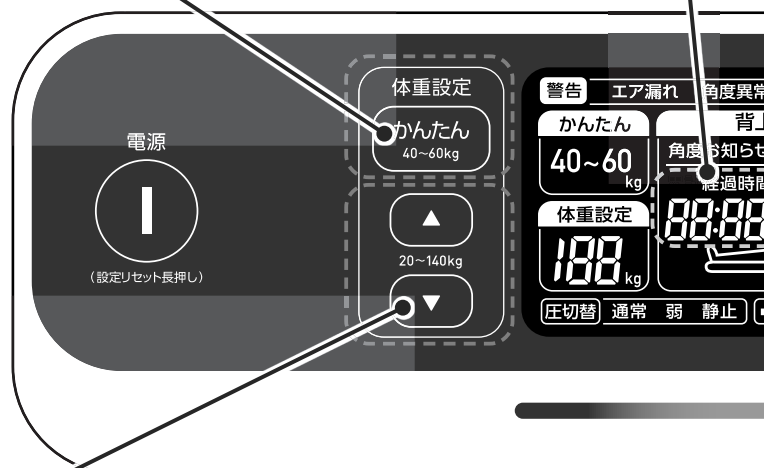
体重が40～60kg以外の場合
(体重が40kg～60kgの場合もご使用になれます)



背上げ経過時間お知らせ機能 ▶ P.20

15°以上の背上げを検知すると、経過時間が表示されます。

使用している角度より10°以上の背上げ角度の増減を検知した場合には自動で経過時間がリセットされます。



■ 液晶画面の自動消灯について ■

暗室で3分経過すると、液晶画面が自動的に消灯します。

操作パネルのいずれかのボタンを押すことで、液晶画面が点灯します。

自動背上げ対応機能：内圧自動調整 ▶P.19

背上げ角度に適した内圧に自動調整します。
※ベッドの背上げ機能ではありません。

5°刻みで設定可能

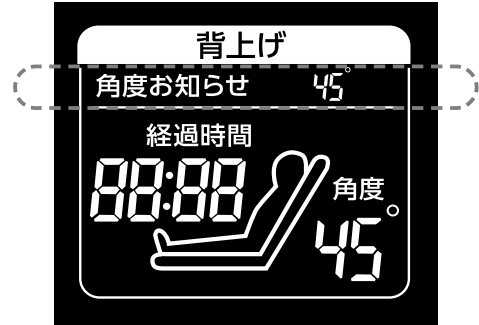
角度お知らせ 15° ~ 角度お知らせ 75°

お知らせ角度設定機能 ▶P.21

繰返し同じ背上げ角度で過ごされたい方にお使いいただける機能です。

実際にベッドの背上げを行い、「お知らせ角度設定」ボタンを押すとその背上げ角度が記憶され、次回以降その角度に到達すると報知音でお知らせします。

お知らせ角度は5°刻みで15°~75°の範囲で設定できます。



圧切替設定 ▶P.22

エアセルの膨張収縮動作の程度を変更することができます。

「通常」「弱」「静止」からお選びいただけます。



クイックハードモード ▶P.22

速やかにマットレスを硬くします。
安全のため60分自動解除機能がついており、液晶画面に残り時間を表示します。
もう一度ボタンを押すことで通常の硬さに戻すこともできます。



換気 ▶P.23

マットレス内にもった熱を外に排出します。
運転中は換気部分の液晶表示が回転します。

実際のご使用前に、まずは設置をしましょう。

設置をしましょう

1

専用マットレスを設置します。

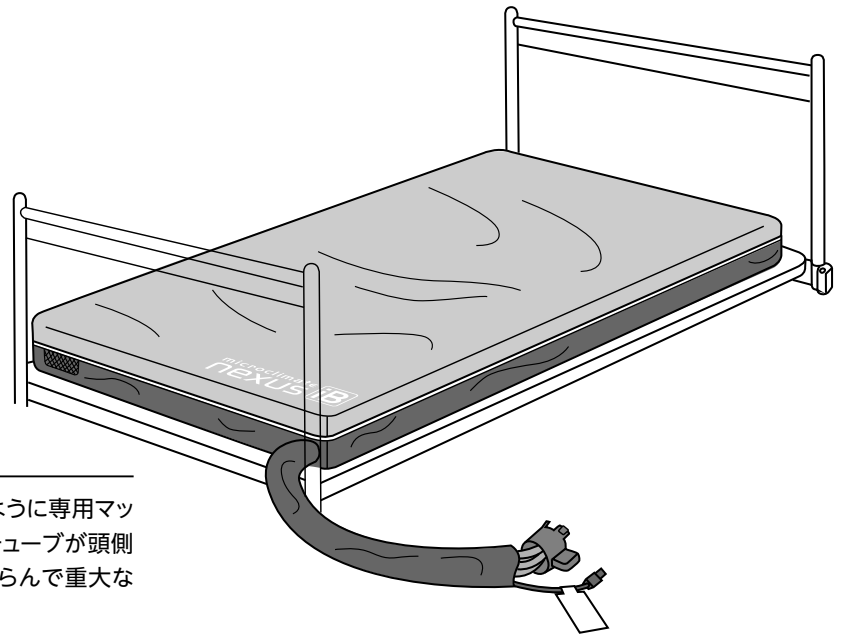
- ベッドの上にそのまま敷いてご使用ください。ベッドマットレスは不要です。
- 内蔵のヘッドアップセンサとファンユニットに衝撃を与えないように静かに設置してください。



- 必ず送風チューブが足側になるように専用マットレスを設置してください。送風チューブが頭側にくると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



- 専用マットレスに内蔵されているヘッドアップセンサとファンユニットに強い衝撃を与えたり、水濡れをさせたりしないでください。故障する恐れがあります。
- カプラーとヘッドアップセンサコネクタ(黒色)に強い衝撃を与えないでください。故障する恐れがあります。
- 必ず専用カバーを装着してご使用ください。外してご使用になるとエアセルやベースシートに埃等が溜まり、汚れやカビ発生の原因になります。またエアセル保護のためにも必要です。
- 厚手の敷き毛布や敷きパットと併用されると、十分な効果を得られない場合があります。
- 送風チューブキャップは取り外さないでください。
- ファンユニットの排気口付近をクッションなどで塞いだり、排気口付近のシートを強く巻き込んだりしないでください。
- ネクスusIBの近くで、超音波加湿器を使用しないでください。水道水に含まれるカルキがエアフィルターに付着して商品の機能に影響を及ぼすことがあります。



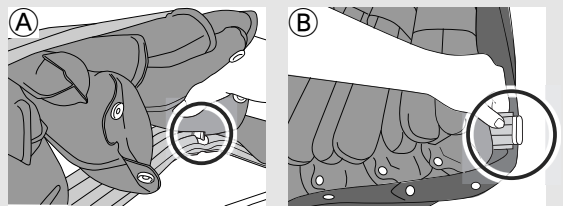
■ 確認 ■

- ログマークが印刷されている面を上に向けて設置してください。
- 送風チューブがある方が足側になるように設置してください。

※送風チューブは専用マットレスの下などに巻き込まないでください。

■ 点検ポイント ■

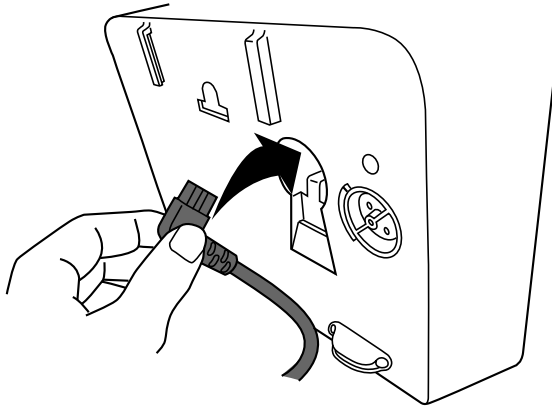
- 専用カバーを開き、送風チューブにエアセルが接続されているか確認してください(A)。



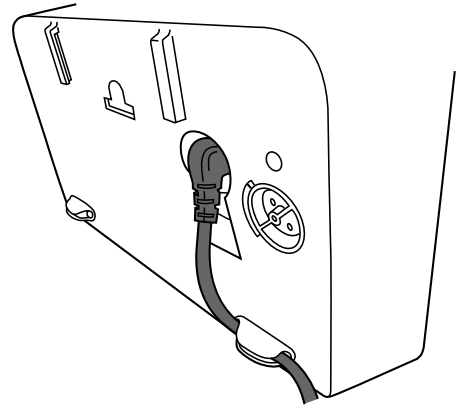
- 送風チューブキャップがしっかり差し込まれているか確認してください(B)。

2

専用ポンプに電源コードを接続します



①電源コードのコネクタを専用ポンプの接続口に差し込みます。

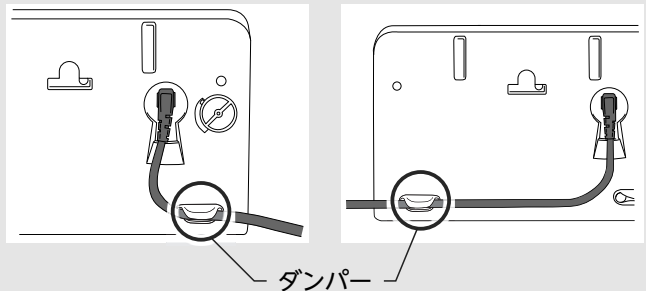


②コネクタが専用ポンプの奥まで確実に差し込まれていることを確認します。

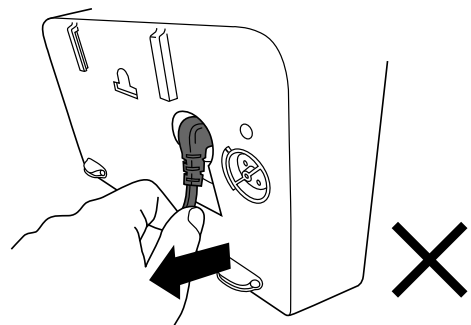
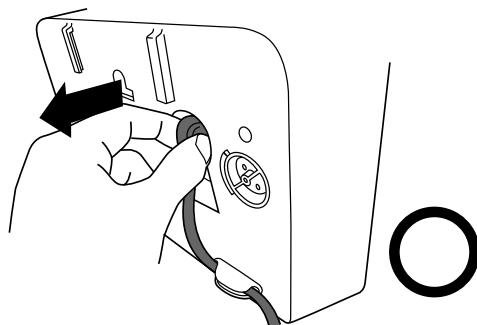
■ 電源コード固定方法 ■

専用ポンプの背面に設置されている左右のダンパーは電源コードを固定する機能も備えています。

ご利用環境に合わせてコードの固定ができます。



- 付属の電源コードを必ずご使用ください。
- 電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。
- 専用ポンプから電源コネクタを抜く際には、必ずコネクタを持って抜いてください。
- 電源コネクタはコードが下になるように差し込んでください。



設置をしましょう

3

専用ポンプを設置します。

1 ベッドでご使用の場合

- 専用ポンプとポンプフックに手を添えて持ち、ベッドのフットボードの中央部に引っ掛けて設置してください。

2 引っ掛ける場所のないベッドでご使用の場合

- 専用ポンプを足側などの邪魔にならない位置かつ水平で安定した場所に立てた姿勢で置いてください。



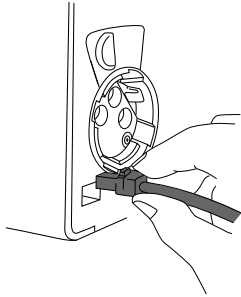
- 送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、専用マットレス内に空気が送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因になります。
- 専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。怪我の原因になることがあります。また、専用ポンプの上に物を置いたり、掛け布団等が掛からないようにしてください。専用ポンプの誤操作や温度を異常に上昇させ、故障の原因になります。



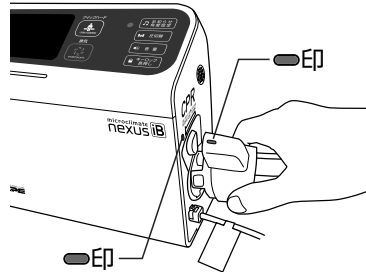
- 専用ポンプはフットボードの中央部に設置してください。端部に設置すると、落下する恐れがあります。
- 専用ポンプを床に設置する場合は、ベッドの脚部などに直接触れさせないでください。振動音を発する恐れがあります。
- ベッド昇降時にフットボードと壁などの間に専用ポンプがはさまれて脱落したり、破損しないよう十分な空間を確保してください。
- 専用ポンプの高さは20.3cmです。専用ポンプを床に設置する場合、高さ調節のできるベッドのフレームと床との間に挟まれないよう注意してください。ベッドの高さを下げる際、フレームと床との間に挟まり、専用ポンプが破損する恐れがあります。
- ポンプをフットボードから取り外す際は、ポンプを両手で支えて静かに引き上げてください。無理な力をかけると怪我の原因になったり、ポンプフックの破損の原因になります。

4

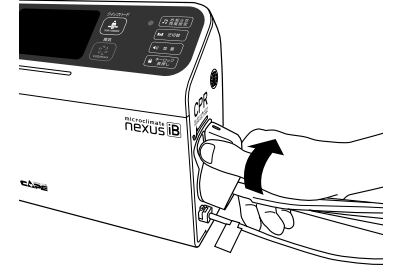
専用ポンプにカプラーとヘッドアップセンサコネクタ(黒色)を接続します。



ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)の突起を上側にしてヘッドアップセンサコネクタ接続口に“カチッ”と音がするまで差し込みます。



カプラーの●印と接続口の●印が合う位置で、カプラーをポンプ側にまっすぐ差し込みます。



奥まで差し込み、そのまま右(時計回り)に、“カチッ”と音がするまで回転させます。

取り外し方法

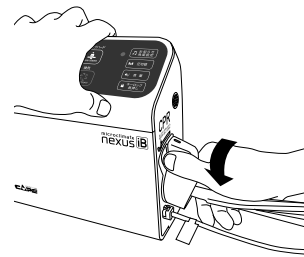
片方の手で専用ポンプをしっかりとおさえ、もう一方の手で赤いボタンを押しながらカプラーを左回り(反時計回り)に回します。カプラーの●印と接続口の●印が合う位置まで戻し、まっすぐ手前に引き抜きます。ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)は上部の突起を奥まで押し込みながらまっすぐ引き抜きます。



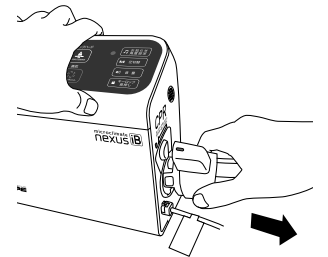
専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因になります。



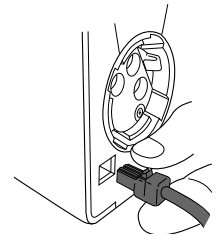
- 送風チューブが外れないように、カプラーを確実に接続してください。エアセル内に空気が入らないとエラーが発生し、マイクロクライメイト ネクスサスiBはご使用になれません。
- ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)は、必ず接続してください。接続されていないとエラーが発生し、自動背上げ対応機能や換気機能が作動しません。
- 専用ポンプから専用マットレスを取り外す場合、送風チューブを引っ張らずに、必ずカプラー部を持って外してください。
- 専用ポンプと専用マットレスが正しい組み合わせになっているか確認してください。



※カプラーを回しながら無理に引き抜かないでください。

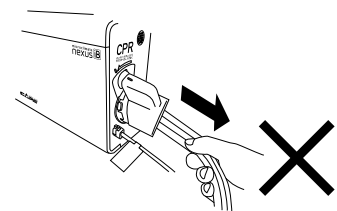
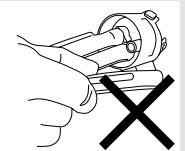


※コネクタ上部の突起をしっかりと奥まで押し込みながらまっすぐ引き抜いてください。



点検ポイント

- 送風チューブがカプラー裏にある差し込み口に差し込まれていることを確認してください。
- カプラーが破損していないか確認してください。



※送風チューブやヘッドアップセンサコードを持って無理に引っ張らないでください。送風チューブが抜けたり、ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)の破損等の原因になります。

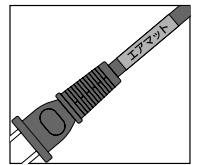
5

電源プラグをコンセントにつなぎ、専用ポンプを作動させてエアセルを膨らませます。



初期設定	体重設定：かんたんモード(40~60kg対応) 圧切替：通常 換気：運転中 音量：小
------	---

プラグには識別しやすいように、「エアマット」の文字入りです。



- 専用ポンプの電源プラグを、家庭用コンセント(AC100V、50/60Hz)に差し込みます。
- 電源プラグを差し込むと自動で電源が入ります。
- カプラーやヘッドアップセンサコネクタ(黒色)を取り付けていない状態で電源プラグをコンセントにつなぐと、エラーが発生します。必ず接続してお使いください。



専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V、50/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因になります。また、濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因になります。



専用マットレスに業務用エアコンプレッサー等で空気を入れすぎると、エアセルが破裂する危険があります。専用マットレスに空気を入れる際は、「専用ポンプ」または当社が推奨する「急速ポンプ KURO」をご使用ください。

■ 説明 ■

- 一度設定を行った後、電源プラグを抜いたり、電源ボタンを押して電源を切った場合、再度電源を入れると直前の設定に復帰します。**P25**参照
- 初期設定に戻すには、「電源ボタン」を3秒以上押し続けてください。**P25**参照
- 送風チューブが折れ曲がっていると、専用マットレスに十分な空気が送られません。
- 専用ポンプのエアフィルターは、連続使用の場合、1年に1回の交換をお勧めします。**P27**参照
- ファンユニット用エアフィルターは、定期的に洗浄してください。また1年に1回の交換をお勧めします。**P28**参照

1

療養者の体重を設定します。

体重が40~60kgの場合

「かんたんモード」もしくは「体重設定」がご使用いただけます。

体重が40~60kg以外の場合

「体重設定」がご使用いただけます。

かんたんモード



- 初期設定では、かんたんモードになっています。
- かんたんボタンを押すたびに「かんたんモード」⇔「体重設定」が切り替わります。
- 液晶画面に「かんたん」と表示されていることを確認してください。
- 約30分でご使用可能になります。

体重設定



- ▲または▼ボタンを押すと、液晶画面が「体重設定」に切り替わります。
(「かんたんモード」の時はかんたんボタンを押しても「体重設定」に切り替わります)
- 体重設定表示を見ながら「体重設定」ボタンで体重を合わせます。
- 1回押すたびに5kgずつ設定値が変わります。
- 約30分でご使用可能になります。
- 設定値は療養者の体重より軽い側の一番近い数値に設定してください。体重が中間値の場合は軽い側に設定してください。

設定例

- 44kgの場合 : 40kgに設定
- 48kgの場合 : 45kgに設定

■ 説明 ■

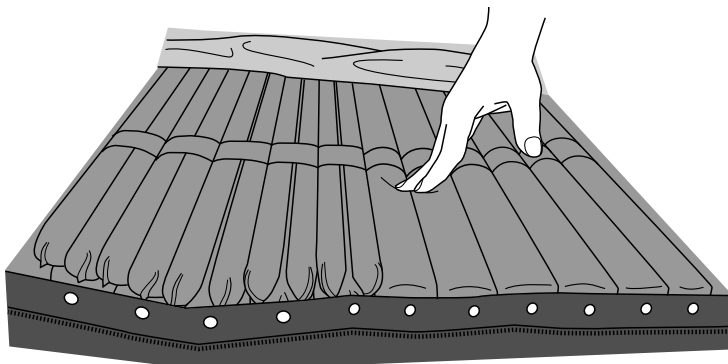
設置後の使用開始準備、またはモード移行中は液晶画面右上の○マークが回転します。
○マークが消えたら設定またはモード移行の完了です。



実際に使用しましょう

2

専用マットレスが膨らんできたら、専用カバーを開き、エアセルに空気が入っていることを確認します。



内圧が整うまで 約30分

3

療養者に寝てもらいます。



- マイクロクライメイト ネットサスIBのご使用に際しては、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しないと、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。
- 専用マットレスの上で、飛び跳ねないでください。怪我をしたり、破損の原因になります。
- 専用マットレスの上で端座位や移乗をする際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。
- 専用ポンプの操作パネルに足をかけたり、掛け布団などが掛かるとボタンの誤操作や、専用ポンプの温度を上昇させ、故障の原因になりますので、専用ポンプの上に物を置かないでください。
- 二人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。また本来の性能を発揮できないばかりかマットレス破損の原因にもなります。



- 電源を入れてから設定が完了するまでは使用しないでください。空気が十分に入っていないため、期待した効果が得られません。
- ご使用になる前に専用マットレス内に空気が入っているか確認してからご使用ください。また専用マットレス表面の一部が凹んでいたり、飛び出している場合は専用カバーを開いて手で整えてからご使用ください。異常と思われる場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店または株式会社ケーブへお問い合わせください。
- 専用マットレスの上で鋭利な物は使用しないでください。破損の原因になります。
- 専用マットレスにはヘッドアップセンサとファンユニットが内蔵されています。また、送風チューブとエアセルはTコネクタにより接続されています。介助を行う際などに強い力が加わると身体がこれらの部品に接触し、怪我や破損の恐れがあるため注意してください。
- ご使用時には操作パネル部分の表面は少しあたたかくなりますが、故障(異常)ではありません。

■自動背上げ対応機能

■内圧自動調整

ベッドの背上げが行われるとマットレスに内蔵されたヘッドアップセンサが角度を検知し、15°以上・30°以上・45°以上・60°以上の4段階で最適な内圧に自動調整します。

15°以上の背上げを検知すると、液晶画面に下図のように表示され背上げモードになります。



ヘッドアップセンサが検知した背上げ角度を表示します。
※ベッドのリモコン等に角度表示がある場合、ベッドの表示角度とマットレスの表示角度が異なることがありますが、検知方式等の違いによるものであり故障ではありません。

- 背上げ角度が14°以下の場合、自動背上げ対応機能は作動しません。
- 背上げ角度が15°以上から14°以下に移行すると、自動背上げ対応機能は解除され、直前の設定に復帰します。

内圧が整うまで **約3分**

■ 説明 ■

各モードの内圧が整うまでの時間の参考値を記載しています。ご使用状況によって時間が異なります。

注 意

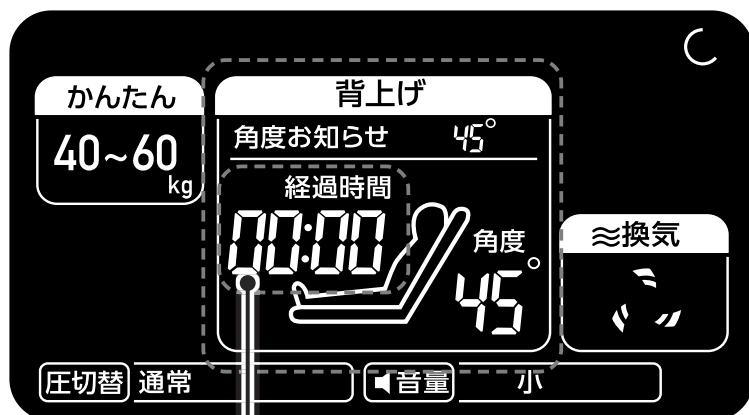
- カプラー下に接続されているヘッドアップセンサコネクタ(黒色)が抜けた場合、液晶画面に「角度異常」エラーが表示され、光サインが赤く点滅します。奥までしっかりと差し込み、「カチッ」と音が鳴ることを確認してください。
 - ヘッドアップセンサが-10°以下を検知した場合、「角度異常」エラーが表示され、光サインが赤く点滅します。適切な角度でお使いください。
- ※角度異常のエラーが表示された場合でも、ベッドが平らな状態であれば、その他の機能は正常に使用できます。
- 自動背上げ対応機能が作動中に角度異常が表示された場合、この状態では背上げに適した内圧になっていません。ベッド(専用マットレス)を平らな状態に戻し、警告の要因を取り除いてください。
- ※P34~36の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

実際に使用しましょう

■ 背上げ経過時間お知らせ機能

背上げの経過時間を1分単位で99時間59分までカウントします。

15°以上の背上げを検知すると、液晶画面に下図のように表示され背上げモードになります。



背上げ経過時間のカウント開始

- 背上げ角度が15°以上になったときに背上げ経過時間のカウントを開始します。
- 99時間59分を超えた場合には00時間00分に戻って再カウントします。00時間00分に戻る際には報知音“ピピ”でお知らせします。

背上げ経過時間の自動リセット

下記いずれかの条件になったとき、背上げ経過時間を自動でリセットします。

リセットのときには音声でお知らせします。

- 基準角度(リセットを行った角度)に対して±10°以上の角度を検知してから、角度変化がない状態で5秒経過したときに経過時間を自動でリセットし、再カウントを開始します。
※例:45°の背上げから30°に背下げして5秒経過したとき、45°の経過時間はリセットされ、30°の経過時間を0秒からカウントし始めます。
※0°から背上げを行った際は、任意の背上げ角度で停止し、角度変化がない状態で5秒経過したときに経過時間をリセットします。
- 14°以下の背上げ角度を検知した際、自動背上げ機能は解除されます。経過時間を自動でリセットし、再カウントはしません。
※14°以下の検知時間が1秒以下の場合、経過時間はリセットされません。
14°以下で自動リセットした場合、背上げ角度変化がない状態で5秒経過したときに音声でお知らせします。(経過時間が4秒以下の場合にはお知らせされず、背上げ経過時間の自動リセットのみ行います)

■ お知らせ角度設定機能

実際にベッドの背上げを行い、設定したい角度に到達したときに「お知らせ角度設定」ボタンを押すことでお知らせ角度が設定できます。

お知らせ角度は5°刻みで15°以上75°以下の範囲にて設定できます。

15°以上の背上げを検知すると、液晶画面に下図のように表示され背上げモードになります。



- 「お知らせ角度設定」ボタンをもう一度押すことでお知らせ角度設定機能を解除できます。

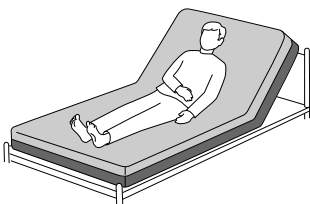
「お知らせ角度設定」ボタンで設定した角度に到達したときに報知音でお知らせする機能です。

- 「お知らせ角度設定」を設定していない場合や音量設定が「切」になっている場合は報知音は出ません。
- 設定した角度を通過した後に角度を戻す場合（背上げ⇄背下げ）、15°以上の角度変化があるときに報知音でお知らせします。
- ベッドの背上げをしていない状態では、お知らせ角度の設定はできません。ベッドを希望の角度まで背上げたうえでボタン操作を行ってください。

お知らせ角度設定方法

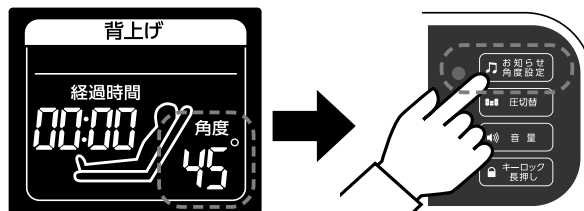
例:お知らせ角度を45°に設定する場合

1



45°付近までベッドの背上げを行います。

2



操作画面の角度表示が45°になる場所で背上げを停止し、「お知らせ角度設定」ボタンを押します。

※ベッドのリモコン等に角度表示がある場合、ベッドの表示角度とマットレスの表示角度が異なることがありますが、検知方式等の違いによるものであり故障ではありません。

3



角度お知らせが45°に設定されます。

次回から45°に到達すると報知音でお知らせします。

角度到達のお知らせ

下記いずれかの条件になったとき、報知音によるお知らせを行います。

- 「角度お知らせ」の設定値まで背上げを行った場合
- 「角度お知らせ」の設定値から15°以上背上げ角度を変化させ、再度設定値まで角度を戻した場合

※例：設定値45°の場合

- ①60°以上まで角度を上げた後、45°まで角度を戻したとき
(55°、50°まで角度を上げた後に45°まで角度を戻した場合はお知らせしません)
- ②30°以下まで角度を下げた後、45°まで角度を戻したとき
(40°、35°まで角度を下げた後に45°まで角度を戻した場合はお知らせしません)

実際に使用しましょう

■圧切替設定

圧切替「通常」のときは、エアセルが通常の膨張収縮動作を行います。

圧切替「弱」のときは、エアセルが小さく膨張収縮動作を行い、圧切替の感覚を軽減させます。

圧切替「静止」のときは、膨張収縮動作を停止し、静止状態になります。

- 「通常」「弱」設定の場合、自動背上げ対応機能との併用が可能です。
- クイックハードモードとの併用はできません。

操作手順

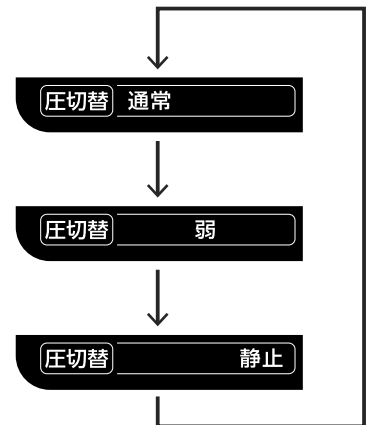
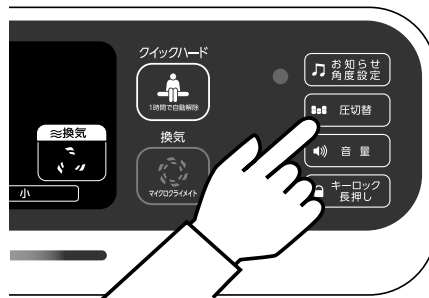
初期設定では、圧切替「通常」になっています。

圧切替ボタンを押すたびに、「弱」「静止」と切り替わりますので、必要に応じて設定してください。

「静止」設定から「通常」に戻すには、もう一度、圧切替ボタンを押してください。

- 圧切替が気にならない場合は、圧切替「通常」をご使用いただくことをお勧めします。

内圧が整うまで **約3分**



■クイックハードモード

エアセルの内圧を高めて膨張収縮が停止します。ベッド上でのケアや離床などのための安定床面を確保できます。

- 自動背上げ対応機能との併用が可能です。
- 圧切替モードとの併用はできません。

操作手順

エアマットレスを硬くする必要がある際に「クイックハード」ボタンを押してください。通常の硬さに戻す場合は、もう一度「クイックハード」ボタンを押して解除してください。

内圧が整うまで **約3分**



■説明

クイックハードモードは安全のため、60分で自動解除されます。液晶画面に残り時間を表示し、残り「3分」と「0分」の時点で音声でお知らせします。

※音量設定が「切」になっている場合は音声は出ません。



■換気（マイクロクライメイト）機能

マットレス内にこもった熱を外に排出することで、マットレスに近い皮膚表面の温度の上昇を抑えます。

操作手順

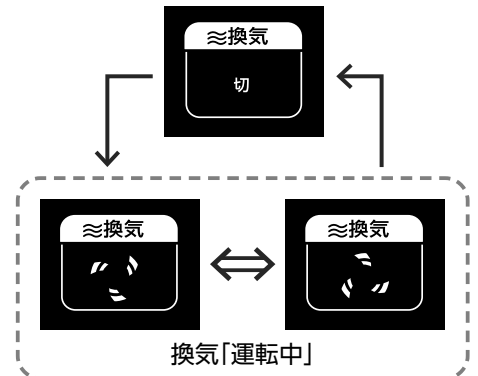
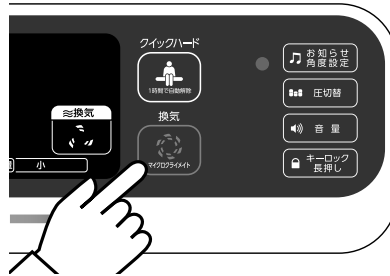
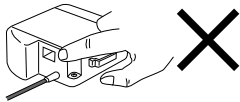
初期設定では、換気「運転中」になっています。
換気ボタンを押すたびに、「切」「運転中」と切り替わりますので、必要に応じて設定してください。

- 不快さがない場合は、換気「運転中」をご使用いただくことをお勧めします。

「運転中」は常時作動

注意

専用マットレスのファンユニットの吸気口・排気口に指などを入れないでください。



■ 説明 ■

運転中は換気部分の液晶表示が回転します。

※ファンユニット停止中（立上げ動作中やエラー発生中）は液晶表示の回転も停止します。

■安全お知らせ機能

正常に作動しているか、異常が生じているかを、光サインの色、液晶画面表示、警告音でお知らせします。

音量ボタンで「切」「小」「中」「大」を選択できます。

■正常に作動している場合

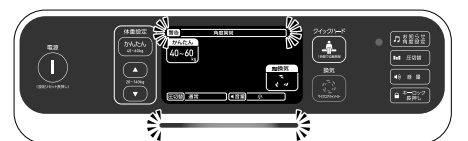
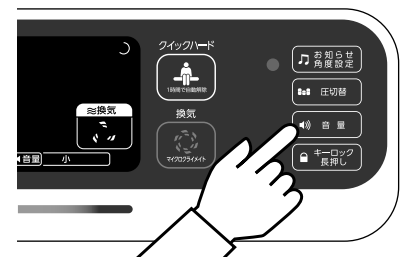
- ポンプ正面の光サインが青色に点灯します。
※光サインの光量は居室の明るさに合わせて3段階で自動調光します。
※暗室で3分経過すると、液晶画面が自動的に消灯します。

■異常が生じている場合

- ポンプ正面の光サインが赤色に点滅します。
- 液晶画面にエラー内容が表示されます。
（「エア漏れ」「角度異常」「換気異常」「その他」）
- 音量の設定が「大」「中」「小」になっている場合、警告音を発します。
※エラー内容によって警告音が異なります。
- 「その他」エラーの場合、音量ボタン以外のボタン操作が無効になります。

[警告音]

エア漏れ その他	ピピピ、ピピピ
角度異常 換気異常	ピーー、ピーー



■ 説明 ■

エラーが生じた場合の対処方法は、P34～36「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

実際に使用しましょう

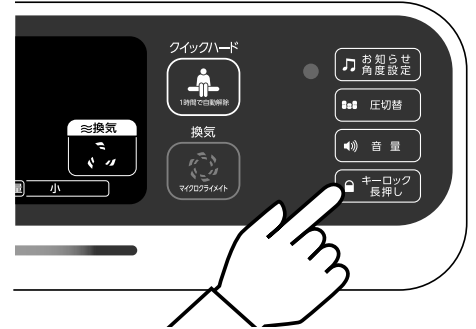
■キーロック機能

思わぬ誤操作を防ぐため、全てのボタン操作がロックされます。

操作手順

初期設定では、キーロックOFFになっています。
キーロックボタンを3秒以上押し続けるたびに「キーロックON」
「キーロックOFF」と切り替わりますので、必要に応じて設定してください。

- エラーが表示されている場合は、キーロックONでも、音量ボタンのみ操作できるようになっています。



キーロックONの状態

■CPR 対応機能（緊急時エア排出機能）

心肺蘇生の処置が必要な際に、エアマットレスの空気を急速に排出できます。

操作手順

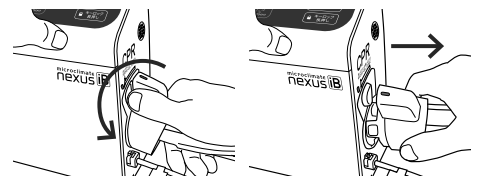
右図の手順にしたがって、送風チューブのカプラー部分を専用ポンプから取り外します。
あとは急速にエアが抜けていきますので、療養者の背部がベッドの床面に
底づくことを確認してください。

背部が床面に底づくまで **約25秒**

※体重や体型によって底づくまでの時間が異なります。

●取り外し方法

片方の手で専用ポンプをしっかりと押しさえ、もう一方の手で赤いボタンを押しながらカプラーを左回り(反時計回り)に回します。カプラーの○印と接続口の○印が合う位置まで戻し、まっすぐ手前に引き抜きます。



※カプラーを回しながら無理に引き抜かないでください。



送風チューブを引っ張らずに、必ずカプラーを回して外してください。

CPR対応機能使用後の復帰手順 →P15参照

- カプラーの○印と接続口の○印が合う位置で、カプラーを奥まで差し込み、右回り(時計回り)に”カチッ”と音がするまで回して接続します。
- ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)が抜けている場合は所定の場所に差し込みます。
- リセットのため電源プラグの抜き差しを一回行ってください。
- 直前の設定に復帰します。

■メモリ機能

電源プラグをコンセントに差し戻した時や電源復旧後は、直前の設定に自動復帰します。

自動復帰する設定：体重設定、かんたんモード、お知らせ角度、圧切替、換気、音量

自動復帰しない設定：クイックハードモード、背上げ経過時間、キーロック

※設定変更直後に電源がOFFになった場合、メモリが正常に機能しない場合があります。

■設定リセット機能

メモリされた設定値を初期設定にリセットします。

操作手順

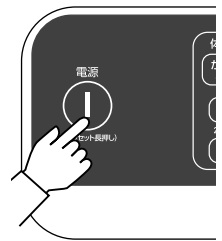
電源ボタンを3秒以上押し続けてください。

「ピッ」という音が鳴り、液晶画面が全表示された後に、初期設定にリセットして再起動されます。

初期設定

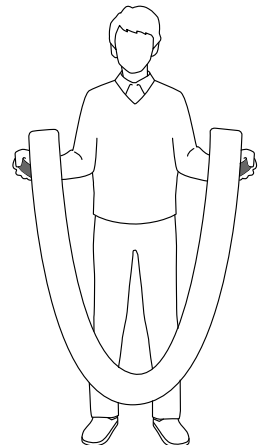
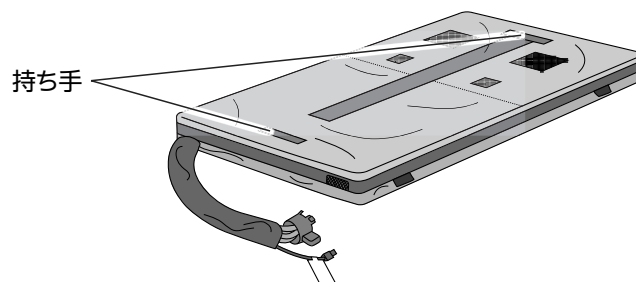
体重設定：かんたんモード(40～60kg対応)

圧切替：通常 換気：運転中 音量：小

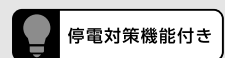


■専用マットレスの持ち運び

- 持ち運ぶ際は、専用ポンプやカップラー部を落下させたりぶつかけたりしないように注意してください。
- 専用マットレスは図のように持ち運ぶことができます。



■ 停電時の対応方法 ■



マイクロクライメイト ネクサスiBは、停電対策機能付きです。

停電の際には、特別な操作を行う必要はありません。

- 停電と同時に専用ポンプ内部のバルブが自動的にエア抜けを防止し、マットレス全体の内圧を約14日間保持します。
- 電源復旧後は、メモリ機能によって直前の設定に自動復帰します。



- カップラーを外さないでください。外してしまうと空気が抜けてしまいます。
- 停電中は圧切替の動作をしません。2時間おきに体位変換をお願いします。ベッドの背上げを行っている場合は、ベッドを平らな状態に戻してください。

お手入れ方法

※業務用機械での洗浄・乾燥・消毒・その他
ご不明な点については、株式会社ケーブに
お問い合わせください。

専用カバーのお手入れ

洗濯

- 1 表面に付着した汚れを予め取り除いた後、専用カバーをマットレスから取り外します。
- 2 洗濯機で弱水流洗濯ができます。
洗濯機による洗濯、または手押し洗いをしてください。
- 3 低い温度でのタンブル乾燥ができます。
乾燥機による乾燥、または陰吊り干しをしてください。

洗濯の際は、商品に取り付けられている品質表示ラベル(洗濯ラベル)をご参照ください。

清拭

- 汚物(汚れ、便、血液等)を取り除いて、水または、水で薄めた中性洗剤でマットレスの表面を拭いてください。
- 消毒用エタノールを使用する場合は濃度70%以上、83%以下、次亜塩素酸ナトリウム液を使用する場合は濃度1,000ppm(0.1%)以下での清拭が可能です。

■ お願い ■

- ドライクリーニング(石油系は除く)、オートクレーブは、表面のポリウレタン樹脂を傷めますので使用しないでください。
- 洗濯後は十分にすすぎを行ってください。
- タンブル乾燥機を使用する場合、槽内の詰めすぎ、長時間の乾燥に注意してください。
- 乾燥機による乾燥後は自然乾燥を行ってください。
- カバー損傷防止のため洗濯ネットを使用してください。
- アイロン、スチームプレスは絶対に使用しないでください。

注意

- 防水カバーを洗濯機で脱水する場合、防水部分に水が溜まることにより、洗濯機に負荷が掛かり故障や異常振動による転倒事故を招く危険があります。お客様の都合により洗濯機を使用する場合は、防水部分に溜まった水を大きめに取り除いた上で、脱水を行ってください。
- 次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、使用する次亜塩素酸ナトリウム液の使用法、注意書きをよく確認したうえで行ってください。
- 消毒液を利用した空間噴霧は、目や皮膚などへの刺激、および吸入により人体へ影響を及ぼす可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。

専用ポンプのお手入れ

- 1 専用ポンプの電源をOFF(液晶画面、光サインのランプが消えた状態)にして、コンセントから電源プラグを抜きます。
- 2 布に水で薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
- 3 2の布で、専用ポンプの表面の汚れをふき取ります。

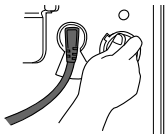
■ お願い ■

ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、素材を傷めますので使用しないでください。

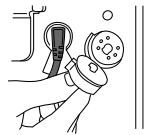


- 専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V、50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因になります。また、濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因になります。
- 長期間使用しないときや専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因になります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因になります。

専用ポンプのエアフィルターの交換方法



フタをつまみ、左側に90°回転させ、引き抜きます。



フィルターを交換します。

交換用フィルターについてはお買い上げの販売店または株式会社ケーブにお問い合わせください。

専用マットレスのお手入れ

1 専用ポンプからカップラー部とヘッドアップセンサコネクタ(黒色)を外します。

エアセル内の空気を抜いてください。

2 専用カバーを取り外します。

3 ファンユニットとヘッドアップセンサを取り外します。取り外し方法は、次ページ以降の「ファンユニットの取り扱い方法」と「ヘッドアップセンサの取り扱い方法」をご覧ください。

4 エアセルを掃除します。右記の「エアセルお手入れ方法」をご覧ください。

5 ベースマット(ブレスエアー®)を取り外し、汚れを取り除きます。

6 日陰で吊り干し、自然乾燥させます。

7 お手入れ後、ベースマット、ヘッドアップセンサ、ファンユニットを正しく取り付け、最後に専用カバーを取り付けます。

ファンユニットとヘッドアップセンサの取り付け方法は、次ページ以降の「ファンユニットの取り扱い方法」と「ヘッドアップセンサの取り扱い方法」をご覧ください。

■ お願い ■

ファンユニットの清潔維持やマイクロクライメイト効果維持のため、ファンユニット用エアフィルターは次ページの「ファンユニットの取り扱い方法」に従って定期的にお手入れしてください。

■ エアセルお手入れ方法

中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に洗剤を含ませて拭き取ってください。

汚れがひどいときは、少量の水をかけて柔らかいブラシで軽くこすってください。

消毒用エタノールを使用する場合は濃度70%以上、83%以下、次亜塩素酸ナトリウム液を使用する場合は濃度1,000ppm(0.1%)以下での清拭が可能です。

■ お願い ■

ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、素材を傷めますので使用しないでください。

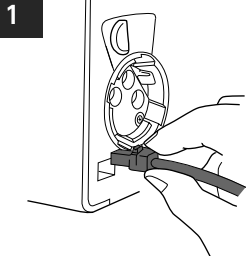
注意

- 次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、使用する次亜塩素酸ナトリウム液の使用法、注意書きをよく確認したうえで行ってください。
- 消毒液を利用した空間噴霧は、目や皮膚などへの刺激、および吸入により人体へ影響を及ぼす可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- エアセルを送風チューブから取り外さないでください。接続できなくなったり、接続部が破損したりする恐れがあります。
- 専用マットレスは複数の素材により構成されており、素材の特性上、変色や色移り、風合い変化などの経年変化が生じる場合があります。またお客様のご使用環境や使用頻度などのお取り扱い状況により、変化の進行状態は異なります。なお、変色や色移り、風合い変化など経年の要素による変化が生じた場合でも品質・機能に影響はありません。
- マイクロクライメイト ネクスス*iB*の近くで、超音波加湿器を使用しないでください。水道水に含まれるカルキがエアフィルターに付着して商品の機能に影響を及ぼすことがあります。

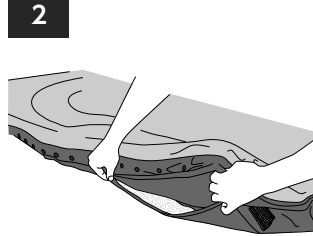
お手入れ方法

ファンユニットの取り扱い方法 ※各部位の取り付け位置についてはP.8「各部の名称」をご参照ください

■ファンユニットの取り外し方法



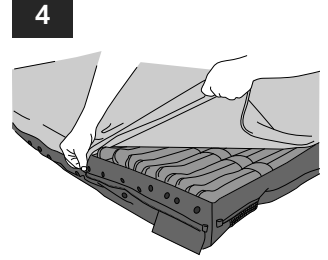
ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)の上部の突起を押し込みながら引き抜きます。



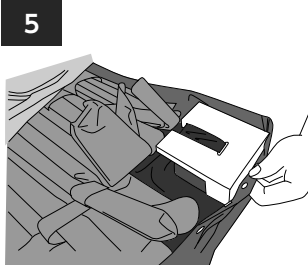
マットレス底面のファスナーを全周にわたって開きます。



マットレス底面のファスナーを開いたら、ヘッドアップセンサコネクタ用コードを引き抜きます。



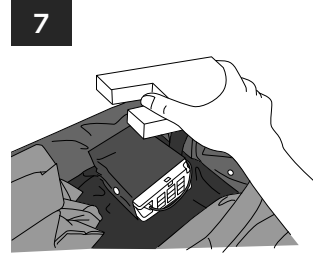
マットレス側面のファスナーを開き、専用カバーを開きます。



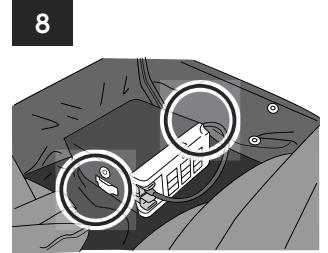
マットレス側面のファスナーを開いたら、足元から1～3本目のエアセルのフックを外します。



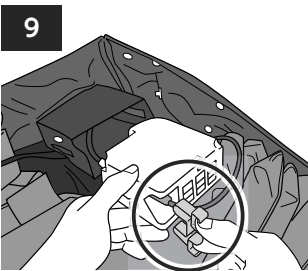
ファンユニット側面の固定ベルトのフックを外します。



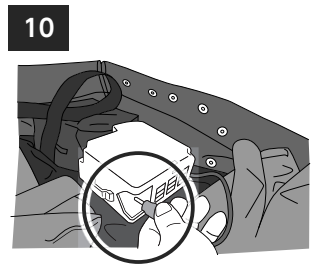
ファンユニット保護カバーを取り外します。



ファンユニット左右の固定ベルトを外します。

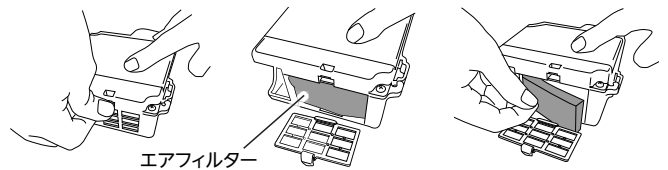


カバーからファンユニットを取り外し、プラグロックを外します。



ヘッドアップセンサプラグ(緑色)を引き抜き、ファンユニットを取り外してください。

■ファンユニットのエアフィルターお手入れ・交換



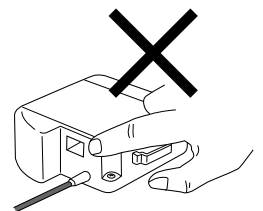
エアフィルターのお手入れは、掃除機等で汚れや埃を取り除いてください。

汚れがひどい場合は、水洗いして十分に乾かしてからお使いください。エアフィルターは定期的に新しい物への交換をお奨めします。(推奨:1回/年)お手入れ後は必ずエアフィルターを所定の場所へお戻しください。交換用エアフィルターについては、販売店もしくは株式会社ケープにお問い合わせください。



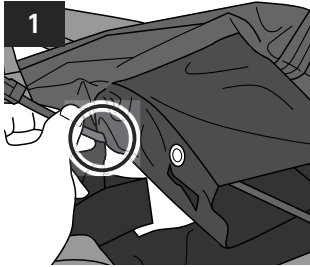
ファンユニット取り扱いの際は安全のため、電源が切れていること(電源プラグがコンセントから抜けている)を確認してください。

吸気口・排気口に指などを入れないでください。

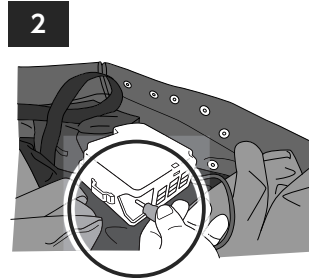


■ファンユニットの取り付け方法

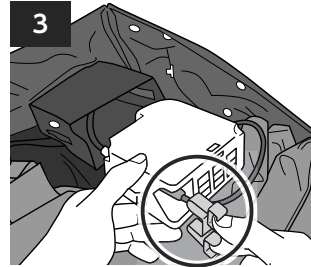
※ファンユニットに貼付されている取扱いシールも併せてご参照ください。



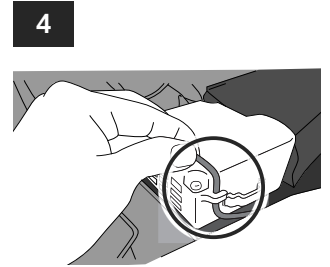
ファンユニットのカバー角の切欠き部にヘッドアップセンサコネクタ(黒色)を通します。



ファンユニットにヘッドアップセンサプラグ(緑色)を奥までしっかりと差し込みます。



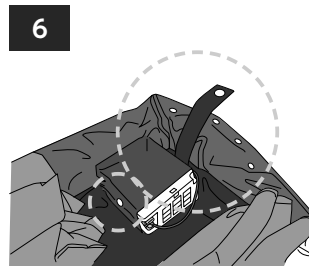
ヘッドアップセンサプラグ(緑色)挿入部にプラグロックを取り付けます。
※プラグロックの向きにご注意ください。



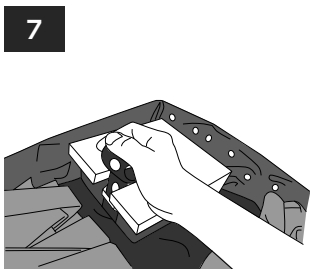
コードをフック部に掛けます。



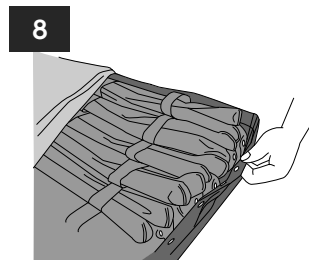
ファンユニットをカバーに挿入します。



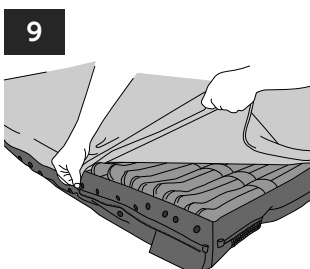
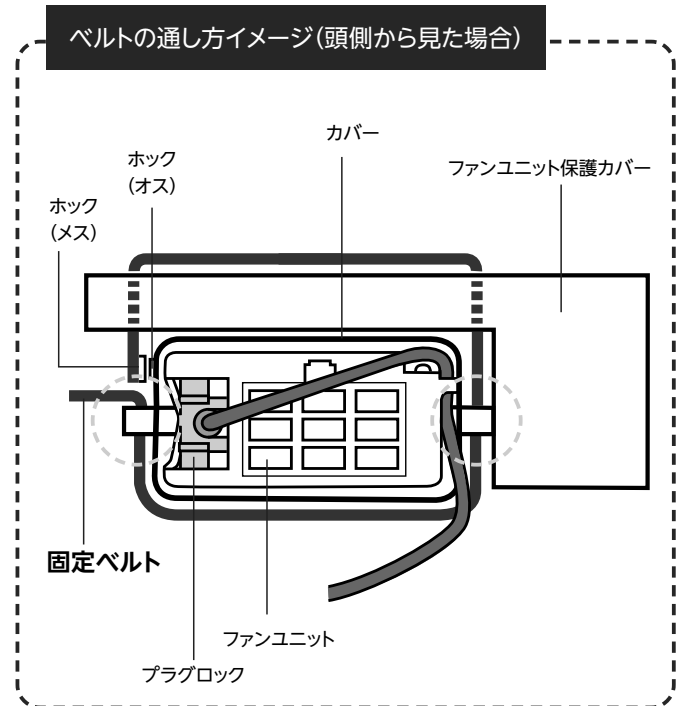
ファンユニット左右に固定ベルトを取り付けます。



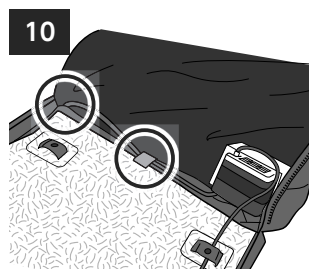
ファンユニット保護カバーに固定ベルトを通し、フックを取り付けます。



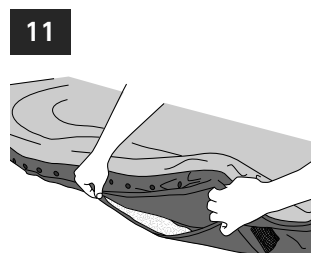
エアセルのフックを取り付けます。



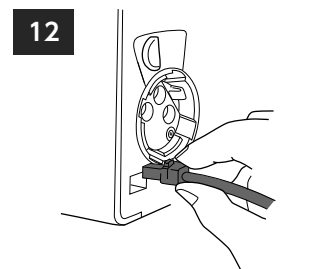
マットレス側面のファスナーを閉じ、専用カバーを取り付けます。



マットレス底面のファスナーを全周にわたって開き、ループ部とカバー角の切欠き部にコードを通します。



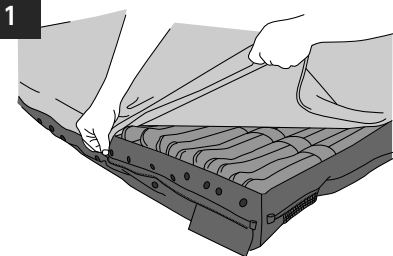
マットレス底面のファスナーを全周にわたって閉じます。



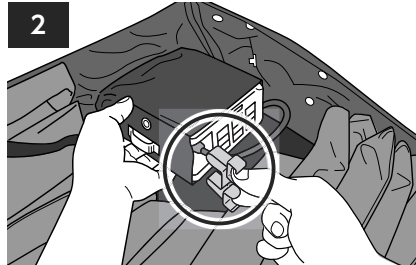
専用ポンプにヘッドアップセンサコネクタ(黒色)を差し込みます。

ヘッドアップセンサの取り扱い方法 ※各部品の取り付け位置についてはP.8「各部の名称」をご参照ください

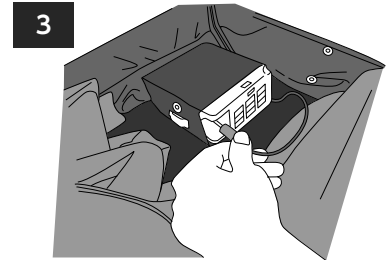
■ヘッドアップセンサの取り外し方法



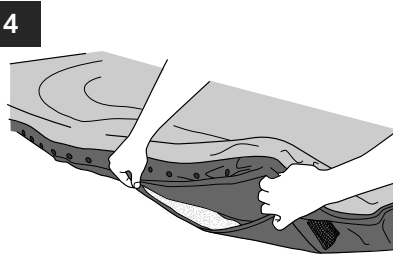
1 マットレス側面のファスナーを開き、専用カバーを開きます。



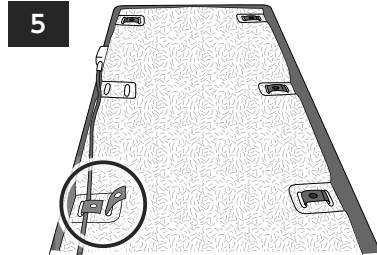
2 マットレス側面のファスナーを開いたら、ファンユニットに取り付けられているプラグロックを外します。



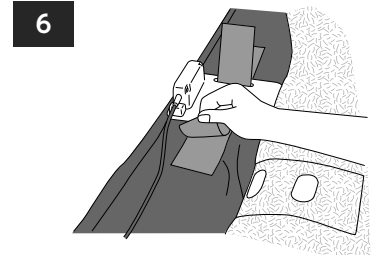
3 ヘッドアップセンサプラグ(緑色)を引き抜き、コードをフック部から外します。



4 マットレス底面のファスナーを全周にわたって開きます。

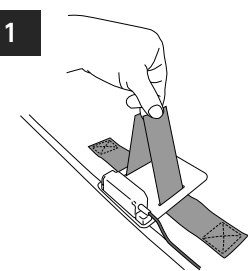


5 マットレス底面のファスナーを開いたら、コードを通してあるベルトのホックを外します。

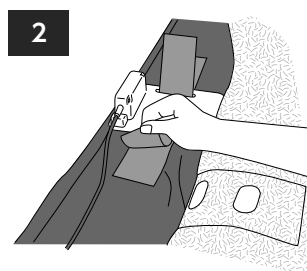


6 ベースマットを開き、ヘッドアップセンサを固定している面ファスナーを外します。

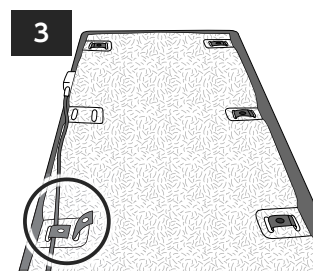
■ヘッドアップセンサの取り付け方法



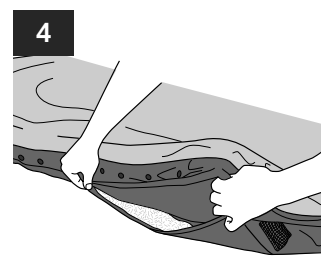
1 ヘッドアップセンサの穴(2か所)に面ファスナーを通します。



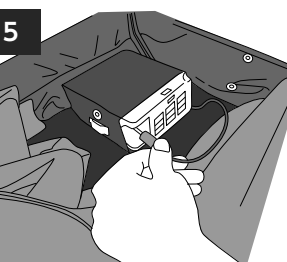
2 面ファスナーでヘッドアップセンサを固定します。面ファスナーは半分の位置で折り返し、全面をしっかりと貼り合せてください。



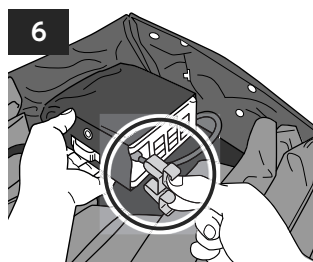
3 ホックを取り付け、センサのコードを固定します。



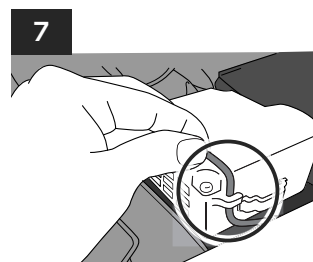
4 マットレス底面のファスナーを全周にわたって閉じます。



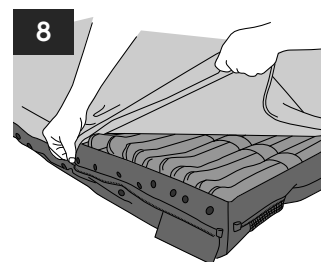
5 ファンユニットにヘッドアップセンサプラグ(緑色)を奥までしっかりと差し込みます。



6 ヘッドアップセンサプラグ(緑色)挿入部にプラグロックを取り付けます。



7 コードをフック部に掛けます。



8 マットレス側面のファスナーを閉じ、専用カバーを取り付けます。

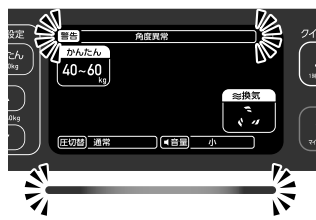
こまめに点検しましょう

- ご使用中は、できるだけ1日に1回は、エアマットレスの状態を確認することをお勧めします。エアセルに適切に空気が入っているか、また各モード設定の状態を確認してください。なお、場所を変えた場合や、停電などで一時的に作動が停止した場合などは、その都度状態を確認してください。
- 異常や変化が感じられるとき、また困ったこと、わからないこと、不安なことが生じた場合には、P.34～36「故障かな?と思ったら…」をご覧ください。

点検ポイント 1

P.23参照

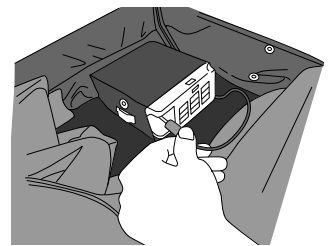
光サインが赤く点滅していませんか?
警告が表示されていませんか?



点検ポイント 5

P.30参照

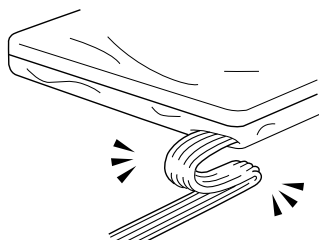
ファンユニットからヘッドアップセンサプラグ(緑色)が外れていませんか?
ヘッドアップセンサプラグ(緑色)が奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



点検ポイント 2

P.5参照

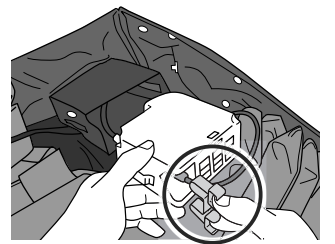
送風チューブが折れ曲がっていませんか?
送風チューブのねじれや折れ曲がりを解消してください。



点検ポイント 6

P.29参照

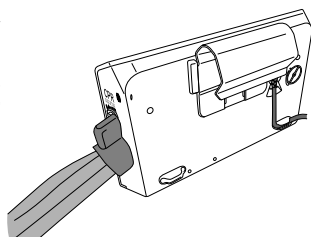
プラグロックが外れていませんか?
プラグロックが正しく取り付けられていることを確認し、ケーブルをフックにかけてください。



点検ポイント 3

P.15参照

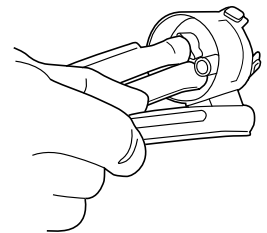
カプラーはポンプに正しく差し込まれていますか?
カプラーがしっかりと接続されていることを確認してください。



点検ポイント 7

P.15参照

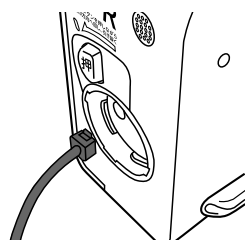
送風チューブが外れていませんか?
送風チューブがカプラーの所定の差し込み口に差し込まれているか確認してください。



点検ポイント 4

P.15参照

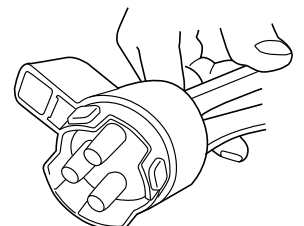
ヘッドアップセンサコネクタ(黒色)が外れていませんか?
または破損していませんか?
ヘッドアップセンサコネクタがポンプに奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



点検ポイント 8

P.15参照

カプラーが破損していませんか?
カプラーのパイプ部分に割れやカケ、ひびが入っていないか確認してください。

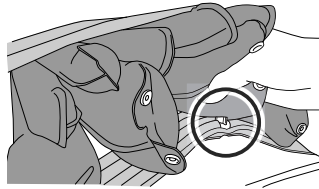


こまめに点検しましょう

点検ポイント 9

P.12参照

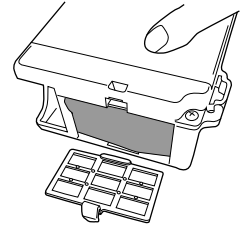
全てのエアセルが送風チューブと接続されていますか？
エアセル下側のTコネクタが送風チューブに差し込まれていることを確認してください。



点検ポイント 13

P.28参照

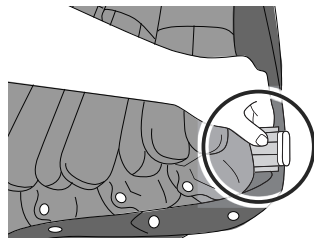
ファンユニットのエアフィルターに汚れが溜まりすぎていませんか？
汚れが溜まっている場合はお手入れ、または新しいエアフィルターと交換してください。



点検ポイント 10

P.12参照

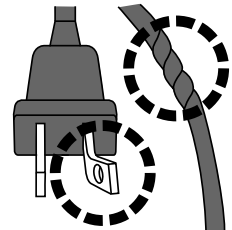
送風チューブキャップはしっかり差し込まれていますか？
専用マットレス頭側の送風チューブ先端にチューブキャップが差し込まれているか確認してください。



点検ポイント 14

P.6参照

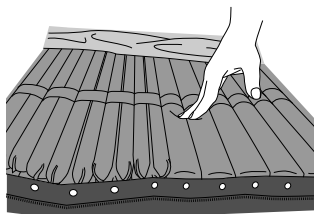
電源コード・プラグ・コネクタは破損していませんか？
破損している場合は、お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープにお問い合わせください。



点検ポイント 11

P.18参照

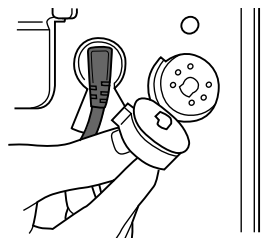
エアセルが破損していませんか？
専用カバーを開き、エアセルを手で触り空気が入っていることを確認してください。



点検ポイント 12

P.27参照

エアフィルターに汚れが溜まりすぎていませんか？
汚れが溜まっている場合は、新しいフィルターと交換してください。



注意

使用する環境や頻度により、専用マットレス・専用ポンプは劣化します。劣化した状態で使用を続けると、思わぬ怪我や故障の原因となる恐れがあります。詳しい点検をご希望される場合は、お買い上げの販売店または株式会社ケープにお問い合わせください。

保管方法

ご使用を止め、保管する場合は以下の手順で保管してください。

1 専用ポンプの電源ボタンを「OFF」（液晶画面、光サインが消灯した状態）にして、コンセントから電源プラグを抜きます。

2 専用ポンプからカプラーとヘッドアップセンサコネクタ（黒色）を外し、エアセル内の空気を抜いてください。

3 P.26～P.30「お手入れ方法」の内容に従って汚れを取り除きます。

4 専用マットレスは専用カバーのロゴマークが印刷されている面を内側に折りたたみ、汚れが付着しにくい状態にして保管します。

5 専用ポンプは電源コードを束ね、汚れが付着しにくい状態にして保管します。



■ お願い ■

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿環境を避け、なるべく風通しの良い場所に保管してください。
- 湿気が残った状態で密封するなどした場合に、カビが生える恐れがあるので、十分に乾燥させた上で保管してください。
- 衝撃が加わると破損・故障する恐れがあるので、運搬や保管の際には落下させたり衝撃が加わらないように十分に注意してください。
- 保証書（本書）をなくさないよう一緒に保管してください。

廃棄方法

各パーツを素材ごとに分け、各行政のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

故障かな?と思ったら…

症状	考えられる原因	対処方法	本書の参考ページ	
電源が入らない (液晶画面や光サインが点灯しない)	電源プラグがコンセントに差さっていない	電源プラグをコンセントに差し込み、液晶画面や光サインの点灯を確認してください	P.16	
	電源コネクタが専用ポンプに差さっていない	電源コネクタを専用ポンプに差し込み、液晶画面や光サインの点灯を確認してください	P.13	
	電源が入っていない	電源ボタンを押し、液晶画面や光サインの点灯を確認してください	P.16	
	暗室で3分経過すると液晶画面が消灯する仕様です	操作パネルのいずれかのボタンを押してください。ボタンを押しても液晶画面が点灯しない場合は、お買い上げの販売店または株式会社ケーブまでお問い合わせください。	P.9, 10	
	ヒューズが切れている	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください		
	電源 (AC) コードが断線している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください		
光サインが赤く点滅している	いくつかの原因が考えられます	液晶画面に表示されている警告を確認のうえ下記を参照して対処してください		
警告「エア漏れ」が表示されている (エアセルの内圧低下)		カプラーが正しくポンプに取り付けられていない	カプラーを専用ポンプの接続口にしっかりと接続してください	P.15
		カプラーから送風チューブが外れている	送風チューブをカプラーの所定の場所にしっかりと差し込んでください	P.15
		ポンプのカプラー接続口からOリングが外れている	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
		カプラーが破損している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	P.15
		ポンプからエアが出ていない	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
		送風チューブが折れ曲がっている	送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
		エアセルのTコネクタが送風チューブから外れている	全てのエアセルのTコネクタを送風チューブに差し込んでください	P.12
		送風チューブのチューブキャップが外れている	チューブキャップを送風チューブに差し込んでください	P.12
		エアセルが破損している	破損しているエアセルを交換してください	
		CPR 対応機能 (緊急時エア抜き機能) を使った	カプラーとヘッドアップセンサコネクタ (黒色) を専用ポンプに接続し、電源プラグを一度抜き差ししてください	P.15, 24
		カプラーをポンプから一時的に外した	電源プラグを一度抜き差ししてください	
	警告「角度異常」が表示されている		ヘッドアップセンサコネクタ (黒色) が抜けている、または奥まで差し込まれていない	ヘッドアップセンサコネクタ (黒色) を専用ポンプに正しく差し込んでください
		ファンユニットのヘッドアップセンサプラグ (緑色) が抜けている、または奥まで差し込まれていない	ヘッドアップセンサプラグ (緑色) をファンユニットに正しく差し込み、プラグロックを取り付けてください	P.30
		ヘッドアップセンサが正常に取り付けられていない	ヘッドアップセンサを正しく取り付けてください	P.30
		ヘッドアップセンサのコードが断線している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください ※ベッドの背上げを行っている場合は、ベッドを平らな状態に戻してください	
		ヘッドアップセンサコネクタ (黒色)、ヘッドアップセンサプラグ (緑色) が破損している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください ※ベッドの背上げを行っている場合は、ベッドを平らな状態に戻してください	
		ヘッドアップセンサが故障している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください ※ベッドの背上げを行っている場合は、ベッドを平らな状態に戻してください	
		マットレスが正しい位置・向きに設置されていない	マットレスを正しい位置・向きに設置してください	P.12, 19

症状	考えられる原因	対処方法	本書の参考ページ
警告「換気異常」が表示されている 	ヘッドアップセンサコネクタ（黒色）のコードが断線している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
	ヘッドアップセンサコネクタ（黒色）が破損している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
	ヘッドアップセンサコネクタ（黒色）が抜けている、または奥まで差し込まれていない	ヘッドアップセンサコネクタ（黒色）を正しく差し込んでください	P.15, 29
	ファンユニットが故障している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
警告「その他」が表示されている 	送風チューブが折れ曲がっている	送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
	圧力センサが故障している	電源プラグを一度抜き差ししてください それでも警告が表示される場合は、お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
	電磁弁が故障している	電源プラグを一度抜き差ししてください それでも警告が表示される場合は、お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
マットレスが膨らまない	エアセルのTコネクタが送風チューブから外れている	全てのエアセルのTコネクタを送風チューブに差し込んでください	P.12
	エアセルが破損している	破損しているエアセルを交換してください	
	電源プラグがコンセントに差さっていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください	P.16
	電源が入っていない	電源ボタンを押し、液晶画面や光サインの点灯を確認してください 警告が表示されている場合は、前ページを参照してください	P.16
マットレスが硬すぎる	電源コネクタが専用ポンプに差さっていない	電源コネクタを専用ポンプに差し込み、液晶画面や光サインの点灯を確認してください	P.13
	体重設定が誤っている（重い設定になっている）	体重設定を適正に行ってください	P.17
マットレスが柔らかすぎる	クイックハードモードになっている	左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.22
	エアセルのTコネクタが送風チューブから外れている	全てのエアセルのTコネクタを送風チューブに差し込んでください	P.12
	エアセルが破損している	破損しているエアセルを交換してください	
エアセルが3本に一本間隔（2本置き）で空気が入っていない	体重設定が誤っている（軽い設定になっている）	体重設定を適正に行ってください	P.17
	圧切替による適正な作動です	そのままご使用ください （警告が表示されている場合は、前ページを参照してください）	
エアセルの空気が抜ける間隔が2本置きでない	エアセルのTコネクタが送風チューブから外れている	全てのエアセルのTコネクタを送風チューブに差し込んでください	P.12
	エアセルが破損している	破損しているエアセルを交換してください	
	圧切替が「静止」設定になっている	必要に応じて圧切替ボタンを押して設定変更を行ってください	P.22
	クイックハードモードになっている	左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.22
マットレスが膨張収縮しない	圧切替が「静止」設定になっている	必要に応じて圧切替ボタンを押して設定変更を行ってください	P.22
	クイックハードモードになっている	左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.22
操作パネルが操作できない	キーロックがONになっている	左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.24
	警告が発生している（その他）	警告「その他」の項目を参照してください	

症状	考えられる原因	対処方法	本書の参考ページ
ボタン操作をしても操作音が鳴らない	音量が「切」になっている	「音量」ボタンを押して設定を変更してください 「切」「小」「中」「大」の4段階の設定が可能です	P.23
音声が鳴らない	音量が「切」になっている	音量ボタンで「小」「中」「大」のいずれかに設定してください	P.23
	「小」「中」「大」にしても鳴らない	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
	お知らせ角度設定では音声は鳴らず、報知音のみ鳴る	そのままご使用ください	P.21
操作パネルの表面が熱くなる	ご使用時、表面が少しあたたかくなりますが、故障（異常）ではありません	そのままご使用ください	
	ポンプの上に掛け布団などがかかっている	掛け布団などを取り除いてください	
光サインの明るさが変わる	居室の明るさに合わせた自動調光による適正な作動です	そのままご使用ください	P.23
ポンプの動作音が異常に大きい	ポンプの上にもものが乗っている	上に乗っているものを取り除いてください	
	ポンプが他のものに接触している	接触しているものから離してください	
	ポンプが正しい姿勢で置かれていない	ポンプをフットボードに掛けるか、水平で安定した場所に立てた姿勢で置いてください	
	ポンプの内部で部品が破損している	お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
マットレスから音がする	ファンユニットの作動音です	異常な音がする場合は、お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください	
警告が出ていないのに換気の液晶表示が回転しない	立上げ動作中は回転の表示が停止する	そのままご使用ください	P.23



マイクログライメイト ネクサス iB をお使いになっていて、または点検の際に何らかの異常や変化、疑問を感じられたときは、上記のことを確認し、それぞれについての説明が記載されている参照ページをご覧ください。それでも原因が不明なときは、故障や部品破損の可能性があります。ご使用を止め、裏面の保証書をご覧ください。お買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書

保証書（本書添付）

- この商品には、保証書を添付しております（本書の最終ページ）。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
- 保証書に記載している内容は必ずお読みください。

保証期間

保証期間は、マットレス・ポンプともにお買い上げ日より3年間です。

修理依頼について

まず、「故障かな?と思ったら…」(P.34～36)を参照して考えられる原因をお調べください。それでも異常があるときは、商品のご使用を止め、お買い上げの販売店または株式会社ケーブにお問い合わせください。

保証期間中は…

- 正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または株式会社ケーブが修理させていただきます。
- 修理依頼される際は、保証書をご提示ください。
- また、保証書記載2の有料修理に当てはまる場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご確認ください。

保証期間経過後は…

- お買い上げの販売店または株式会社ケーブにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

仕様

仕様

マイクロライメイト ネクサス iB

〈セット内容〉 ●専用マットレス ●専用ポンプ	タイプ	840	900	840 / SHORT	900 / SHORT	1000
	品番	CR-770	CR-773	CR-775	CR-777	CR-781
専用マットレス (専用カバー付属)	品番	CR-772	CR-774	CR-776	CR-778	CR-782
	サイズ(幅×長×厚cm)	84×192×12	90×192×12	84×180×12	90×180×12	100×192×12
	重量	7.7kg	8.1kg	7.3kg	7.7kg	8.6kg
	材質	エアセル / ポリウレタンフィルム表面シボ加工 抗菌 ベースマット / 三次元スプリング構造体プレスエア [®] 制菌 ベースシート / ナイロンオックス、ポリエステルメッシュ、PVC ラミネート加工布 ヘッドアップセンサユニット、ファンユニット / ABS 樹脂 (ケース部)				
エアセル本数	24 本	24 本	22 本	22 本	24 本	
専用カバー (専用マットレス付属品)	品番	CH-772	CH-774	CH-776	CH-778	CH-782
	材質	ポリウレタンフィルムラミネート加工布 防水 制菌 伸縮				
専用ポンプ	品番	CR-771				
	サイズ / 重量	幅 30.0 × 高 20.3 × 奥行 8.8cm (ポンプフック装着時 / 幅 30.0 × 高 20.9 × 奥行 14.1cm) / 2.9kg				
	材質	ケース / ABS 樹脂、ポンプフック / POM 樹脂				
	その他	定格 / AC100V、8W、50/60Hz ACコード長さ: 4m				



- ベッドのサイズに合う専用マットレスを使用してください。
- 専用マットレスのサイズは基本寸法であるため、マットレス内圧の状態やご使用状況により多少異なる場合があります。

メモ欄

メモ欄

保証書

本書は、日本国内において取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ずご記入の有無をご確認ください。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- 本書はマイクロクライメイト ネクサスiB専用ポンプ及びマイクロクライメイト ネクサスiB専用マットレスの保証書とさせていただきます。
- 保証期間内であっても、以下の場合には有料修理、または保証対象外となります。
 - 取扱または操作が不適当であったため生じた故障。移動、落下等による故障および損傷。
 - 当社(株式会社ケーブ)以外での分解、改造が加えられた場合。
 - 火災、地震、水害、落雷、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - 接続している他の機器が、本商品の仕様に適合していないために生じた故障および損傷。
 - 本商品以外に故障の原因がある場合。
 - 保証書のご提示がない場合。および、保証書の所定事項に記入がない場合。
あるいは字句の書き換えが認められた場合。
 - ポンプ本体に製造番号(シリアルナンバー)の表示がない、もしくは確認ができない場合。
- 本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合は、株式会社ケーブにご相談ください。

無料修理保証期間(お買い上げ日)	年	月	日より	3年間
※お客様				
お名前	TEL			
ご住所				
※取扱店				
店名/住所/TEL				

株式会社 **ケーブ**

〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町2-7
TEL:046-821-5511(代) FAX:046-821-5522
ホームページ: <https://www.cape.co.jp/>
E-mail: lovingcare@cape.co.jp